

令和4年度 第1回  
久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）  
次第及び配布資料

日程：令和4年8月26日（金）18:00～  
場所：久留米シティプラザ小会議室2・3

次 第

1. 報告事項

- （1）久留米市第8期計画における認知症施策の進捗について 【資料1】

2. 協議事項

- （1）チームオレンジについて 【資料2】

- （2）久留米市認知症支援ガイドブックの見直しについて 【資料3】

3. その他

【配布資料】

- 資料1 久留米市第8期計画における認知症施策の進捗について  
資料2 チームオレンジについて  
資料3 久留米市認知症支援ガイドブックの見直しについて  
参考資料1 久留米市の高齢化の現状、介護認定等  
参考資料2 久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）設置要綱  
参考資料3 久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）委員名簿

# 久留米市第8期高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画の進捗状況 (認知症施策に関連する部分のみ抜粋)

《計画期間 令和3年度～令和5年度》

令和4年8月

久留米市 健康福祉部  
長寿支援課・介護保険課

- ・施策（事業）名の前にある印は、次のことを示しています。  
☆印・・・第8期において新規に取り組むものです。
- ・各施策の進捗度を踏まえ、8期計画期間における事業目的・目標の達成度を、次のとおり評価しています。

A	目標どおり・目標以上の成果があった（100%以上）
B	概ね目標どおりの成果があった（70%以上～100%未満）
C	目標とした成果は得られなかった（70%未満）
D	事業未着手
—	指標なし

## 第6章 認知症施策の推進

### 施策の方向性

認知症になってもならなくても、安心して暮らしていけるよう、認知症サポーターやキャラバン・メイトの養成等の認知症への理解を深めるための普及・啓発に取り組みます。

また、認知機能のチェック等の認知症に気づき対応できる仕組みづくりを進めるとともに、認知症の人やその家族を支援するための新たな仕組みづくりに取り組みます。

- ・ 認知症への理解を深めるための普及・啓発
- ・ 認知症に気づき対応できる仕組みづくり
- ・ 認知症の人やその家族への支援

### 成果

「認知症サポーター養成講座」や「認知症支援ガイドブック」配布等を通じて、認知症に関する普及・啓発に取り組みました。

認知機能の状態を確認し、必要に応じて医療機関への受診等につなげる「ものわすれ予防検診」の実施や、認知症サポート医と医療・介護の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を運営し、認知症の早期発見・早期対応に努めました。

認知症への理解を深めて、孤立防止や介護負担の軽減等を図ることを目的とする「認知症カフェ」への支援や、認知症家族介護経験者による「認知症介護電話相談」の実施、認知症高齢者等が行方不明となった場合の早期発見及び事故防止を図るため、「位置情報検索サービス」の利用開始に係る費用の助成など、認知症の人やその家族が抱える悩みや不安の軽減を図りました。

### 課題や今後の取り組み

- ・ 認知症サポーター養成講座の講師役である「キャラバン・メイト」の活躍の場を設けることが必要です。
- ・ ものわすれ検診について、圏域差があるため、会場の選定や広報・周知を工夫する必要があります。
- ・ 認知症カフェの開設者が集まる研修会等を開催し、情報共有の場を設けます。
- ・ 「認知症カフェ」や「認知症介護電話相談」など、認知症の人やその家族への支援について、事業周知や利用促進に向けた取り組みを進める必要があります。

## 第6章 認知症施策の推進

### 【施策の方向性】

認知症になってもならなくても、安心して暮らしていけるよう、認知症の普及・啓発に取り組めます。

また、認知機能のチェック等の認知症に気づき対応 できる仕組みづくりを進めるとともに、認知症の人やその家族を支援する ための新たな仕組みづくりに取り組めます。

### 1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発

#### 認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成

認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成		【長寿支援課】																																						
実施状況	<p>認知症について正しく理解し、地域において認知症の人やその家族を見守り支える「認知症サポーター」を養成するため、小中学校、企業・地域団体等に対し、サポーター養成講座を実施する。</p> <p>また、認知症サポーター養成講座の講師役である「キャラバン・メイト」を養成するとともに、キャラバン・メイトの活動しやすい環境の整備に努める。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">講座・研修名</th> <th colspan="3">開催回数</th> <th colspan="3">参加人数</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症サポーター養成講座</td> <td>34回</td> <td></td> <td></td> <td>1,671人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャラバン・メイト養成研修</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャラバン・メイトフォローアップ講座</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>▽R4年度進捗状況</p> <p>認知症サポーター養成講座実施状況 18 件。内 1 件は市主催。養成者人数：計 510 名。</p> <p>認知症サポーター養成講座受講について、銀行協会への働きかけを行った。</p>						講座・研修名	開催回数			参加人数			R3	R4	R5	R3	R4	R5	認知症サポーター養成講座	34回			1,671人			キャラバン・メイト養成研修	—			—			キャラバン・メイトフォローアップ講座	—			—		
	講座・研修名	開催回数			参加人数																																			
		R3	R4	R5	R3	R4	R5																																	
	認知症サポーター養成講座	34回			1,671人																																			
キャラバン・メイト養成研修	—			—																																				
キャラバン・メイトフォローアップ講座	—			—																																				
指標達成状況	指標の内容	単位		R3	R4	R5	評価																																	
	認知症サポーター養成人数（延べ）	人	目標値	33,000	33,500	34,000																																		
			実績値	35,327			A																																	

#### 認知症講演会の開催

##### 認知症講演会の開催

【長寿支援課】

実施状況	<p>講演会を開催し、認知症の予防や早期の気づきと対応、地域で認知症の人とその家族を支える仕組みの理解促進に努めた。</p> <p>認知症への社会の理解を深めるために、医療や介護の専門家、認知症本人による講演会を開催する。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症講演会</td> <td>参加者 29 人 (市内 1 地域)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			事業内容	参加者数			R3	R4	R5	認知症講演会	参加者 29 人 (市内 1 地域)		
	事業内容	参加者数												
R3		R4	R5											
認知症講演会	参加者 29 人 (市内 1 地域)													
<p>▽R4 年度進捗状況            集合型:1 回開催予定。            派遣型:計 6 回開催。2 回開催済み。参加者 65 名。</p>														

## 2. 認知症に気づき対応できる仕組みづくり

### 認知症早期診断・早期対応の推進

認知症支援ガイドブックを活用した周知		【長寿支援課】
実施状況	<p>民生委員や介護事業所、医療機関等と連携し、ガイドブックを活用して、認知症の早期対応の重要性を周知する。</p> <p><b>▽事業実績</b>            R3年の総配布数は 3,554 部。</p> <p>▽R4 年度進捗状況            1,558 部配布済み。</p>	
認知症地域支援推進員の配置		【長寿支援課】
実施状況	<p>高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターに、認知症地域支援推進員を配置し、医療、介護、福祉等の関係機関との連携強化や認知症の理解を深めるための普及・啓発を行い、地域における支援体制の構築を図る。</p> <p><b>▽事業実績</b>            高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターに、各1名の認知症地域支援推進員を配置。認知症地域支援推進員が中心となり、地域における支援体制(医療機関・介護サービス事業所・民生委員等)の構築と認知症ケアの向上を図っている。</p>	

### 認知症初期集中支援チームの運営

【長寿支援課】

実施状況	<p>早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療・介護サービスが受けられるように、認知症サポート医と医療・介護の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を運営する。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対応件数(延べ)</td> <td>76件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>▽R4 年度進捗状況 毎月2回、介入者への介入方法等を検討するチーム員会議を実施している。 新規件数(R4.8月時点)7件。</p>		R3	R4	R5	対応件数(延べ)	76件		
		R3	R4	R5					
対応件数(延べ)	76件								

認知機能チェック		【長寿支援課】																										
実施状況	<p>認知機能の状態を確認し、必要に応じて医療機関への受診や介護予防につなげられるように、久留米大学と協働して「ものわすれ予防検診」を実施する。 また、認知機能の簡易検査を取り入れた「認知症予防講座」を開催し、認知症予防の仕組みづくりを推進する。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="3">実施場所(市内)</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ものわすれ 予防検診</td> <td>3 会場</td> <td></td> <td></td> <td>41人 うち認知症 疑い21人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>認知症 予防講座</td> <td>11 会場</td> <td></td> <td></td> <td>126人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>▽R4 年度進捗状況 ものわすれ予防検診:計5会場実施予定。3会場開催済み。 認知症予防講座:計11会場実施予定。5会場開催済み。</p>	事業名	実施場所(市内)			参加者数			R3	R4	R5	R3	R4	R5	ものわすれ 予防検診	3 会場			41人 うち認知症 疑い21人			認知症 予防講座	11 会場			126人		
	事業名		実施場所(市内)			参加者数																						
R3		R4	R5	R3	R4	R5																						
ものわすれ 予防検診	3 会場			41人 うち認知症 疑い21人																								
認知症 予防講座	11 会場			126人																								

福岡県若年性認知症サポートセンターとの連携		【長寿支援課】
実施状況	<p>若年性認知症の専門相談窓口である「福岡県若年性認知症サポートセンター」の周知に努めるとともに、本人が必要に応じ適切な支援を受けられるよう、福岡県若年性認知症支援コーディネーターとの連携を強化する。</p> <p><b>▽事業実績</b> 令和4年2月に若年性認知症相談会を若年性認知症サポートセンターと連携し実施を試みたが参加者がおらず開催には至らなかった。</p> <p>▽R4 年度進捗状況 福岡県若年性認知症サポートセンターと情報交換を行っている。</p>	

### 3. 認知症の人やその家族への支援

#### 認知症の人やその家族への支援

認知症カフェへの支援		【長寿支援課】																
実施状況	<p>認知症に関する知識の習得や参加者同士の情報交換等を通じて理解を深めて、孤立防止や介護負担の軽減等を図ることを目的とする「認知症カフェ」について、身近な地域で多くの人に参加できるよう、開設や運営に向けた支援に取り組む。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症カフェ設置数</td> <td>7箇所</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>認知症カフェ開設講座実施。 参加者:18名(一般参加者5名、施設職員4名、民生委員2名、看護師2名、認知症カフェ開設希望者2名、医療関係者2名、コミュニティセンター職員1名)。</p> <p>▽R4年度進捗状況 認知症カフェ設置数:7箇所→9箇所 市主催認知症カフェ開設講座実施予定。</p>							R3	R4	R5			認知症カフェ設置数	7箇所				
		R3	R4	R5														
認知症カフェ設置数	7箇所																	
指標達成状況	指標の内容	単位		R3	R4	R5	評価											
	認知症カフェの設置数	箇所	目標値	7	9	11												
			実績値	7			A											

認知症介護電話相談		【長寿支援課】																					
実施状況	<p>認知症の人やその家族が抱える悩みや不安について、認知症家族介護経験者による電話相談を実施する。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="3">実施回数／相談件数</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th></th> <th></th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td> <td>毎月2回／28件</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>▽R4年度進捗状況 毎月2回実施中。相談件数12件。</p>						事業内容	実施回数／相談件数					R3					電話相談	毎月2回／28件				
	事業内容	実施回数／相談件数																					
R3																							
電話相談	毎月2回／28件																						

行方不明高齢者位置情報検索サービス利用補助		【長寿支援課】				
-----------------------	--	---------	--	--	--	--

実施状況	<p>認知症高齢者等が行方不明となった場合の早期発見及び事故防止を図るため、位置情報検索サービスの利用開始に係る費用の一部を助成した。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>5件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>▽R4 年度進捗状況 R4年8月時点で申請5件。</p>					R3	R4	R5	申請件数	5件		
		R3	R4	R5								
申請件数	5件											

**☆認知症の人やその家族を支援する新たな仕組みづくり** **【長寿支援課】**

実施状況	<p>認知症の人やその家族への支援活動等を行う「チームオレンジ協力隊員(仮称)」を養成し、認知症の人と家族の支援に関する実践的な活動を行う。</p> <p><b>▽事業実績</b></p> <p>チームオレンジの枠組み作りのため、関係機関との協議、情報収集を行ったチームオレンジコーディネーター配置検討。</p> <p>▽R4 年度進捗状況 チームオレンジの枠組み作りのため、関係機関との協議中。</p>			
------	--	--	--	--



## 久留米市でのチームオレンジについて

### 1. 目的

認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぎ、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを行う。

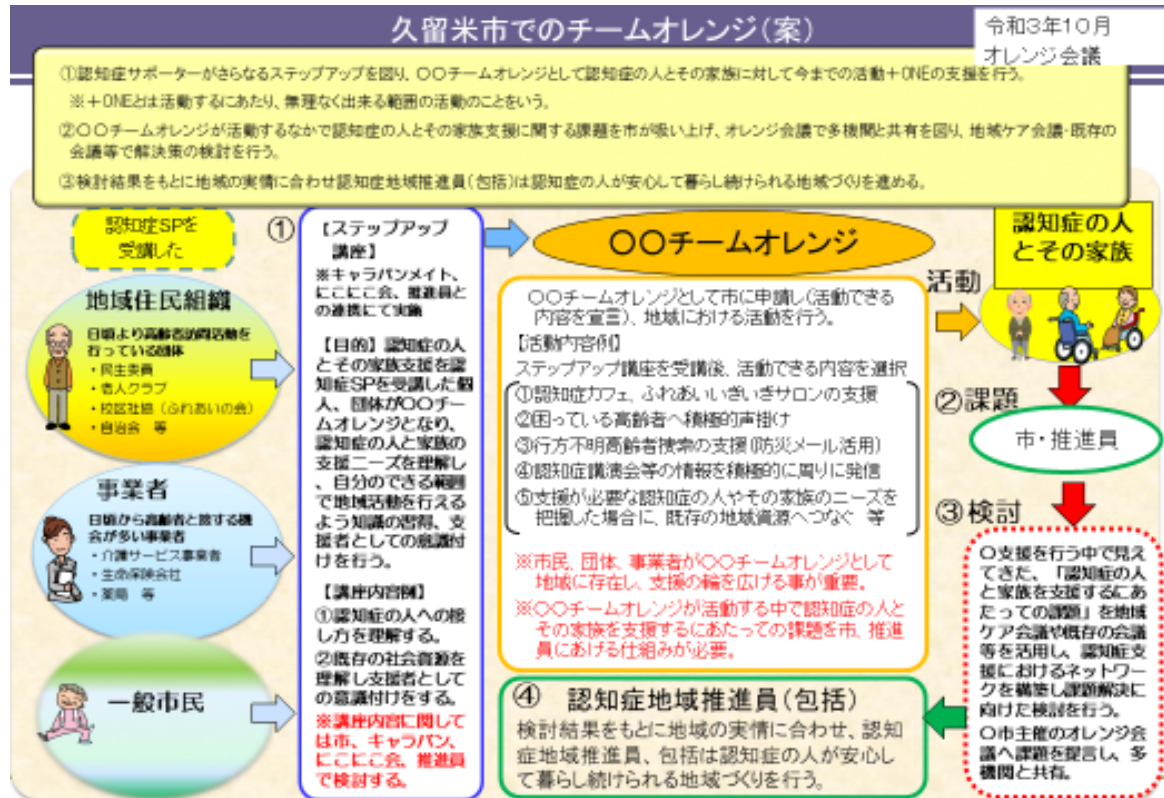
### 2. 経過

令和3年10月 久留米市認知症支援ネットワーク会議で協議

#### (1) 令和3年度久留米市認知症支援ネットワーク会議資料（抜粋）

認知症サポーターが更なるステップアップを図り、ステップアップ講座を受講後、活動できる内容を選択

- ① 認知症カフェ、ふれあいいきいきサロンの支援
- ② 困っている高齢者へ積極的声掛け
- ③ 行方不明高齢者捜索の支援（防災メール活用）
- ④ 認知症講演会等の情報を積極的に周りに発信
- ⑤ 支援が必要な認知症の人やその家族のニーズを把握した場合に、既存の地域資源に繋ぐ 等



#### (2) 令和3年度久留米市認知症支援ネットワーク会議での主な意見

- ① チームオレンジコーディネーターがない
- ② 認知症当事者が見えてこない

### 4. チームオレンジ(案)の見直しについて

会議での意見等を踏まえ、別紙のと通りのイメージを考えている。委員の皆様のご意見をお伺いしたい。

(見直しのポイント)

- ①チームオレンジコーディネーターを明記（長寿支援課職員とした）
- ②ステップアップ講座の受講を通じて、認知症の人やその家族に対しての支援活動を受講者が自ら考え宣言し、市へ登録する登録制度とする。

## 久留米市認知症支援ガイドブックの見直しについて

### 1. 認知症支援ガイドブックの目的

認知症は、早く気づいて対応することで、その症状を軽減できたり、進行を遅らせたりすることができると言われている。そこで、認知症の早期対応の重要性等を掲載した『久留米市認知症支援ガイドブック』を作成し、市民や関係者に普及・啓発を行う。

(認知症支援ガイドブックの主な内容)

- ・認知症ケアパス（認知症の人やその家族が、認知症の進行に合わせて、どこで、どのような医療や介護サービス等を受ければよいかといった、認知症の人の状態に応じた標準的なサービスの流れ）
- ・認知症早期発見の目安」や「認知症の人や家族の事例集」、認知症予防方法（4原則）
- ・相談可能な医療機関一覧

### 2. 見直しの経緯

- ・平成27年度 『久留米市認知症支援ガイドブック（初版）』作成  
（作成にあたり、認知症支援ネットワーク会議を4回開催）
- ・平成30年度 『久留米市認知症支援ガイドブック（改定版）』作成  
（作成にあたり、認知症支援ネットワーク会議を3回開催）
- ・平成31年4月 『久留米市認知症支援ガイドブック（概要版）』を全戸配布  
＊認知症支援ガイドブック（初版、改訂版）は、令和2年度末までに、  
合計約54,000部を配布

### 3. 令和3年度認知症支援ネットワーク会議での意見

令和3年10月の認知症支援ネットワーク会議で、今後の見直しの必要性等について委員より意見を伺った。

(主な意見)

- ・認知症には、中年期の難聴や高齢期の喫煙等という様々な要因があることを周知する。
- ・口腔ケアについても、ガイドブックに盛り込む。
- ・始めのステップとしてリーフレットを作成してもらえれば助かる。
- ・久留米市公式LINEにガイドブック見直しができれば情報発信する等して欲しい。
- ・事業者と連携して認知症支援ガイドブックの周知を行っていく。

### 4. 見直しについて

令和5年度の内容等の見直しにあたって、主に以下の点について、久留米市認知症支援ネットワーク会議の委員の皆様の意見をお伺いしたい。

#### (1) 見直しの視点

(例)・認知症の要因の周知

- ・口腔ケアと認知症の関係
- ・認知症本人の視点
- ・診断後の支援に関する情報
- ・医療機関一覧の更新 など

#### (2) 冊子として配布しているが、その他の効果的な方法等について

【参考：今後のスケジュール案】

令和4年度第2回 ガイドブックの構成、医療機関の調査、見直しの体制等

令和5年度 見直し内容を協議(3回程度)し、ガイドブックの改定

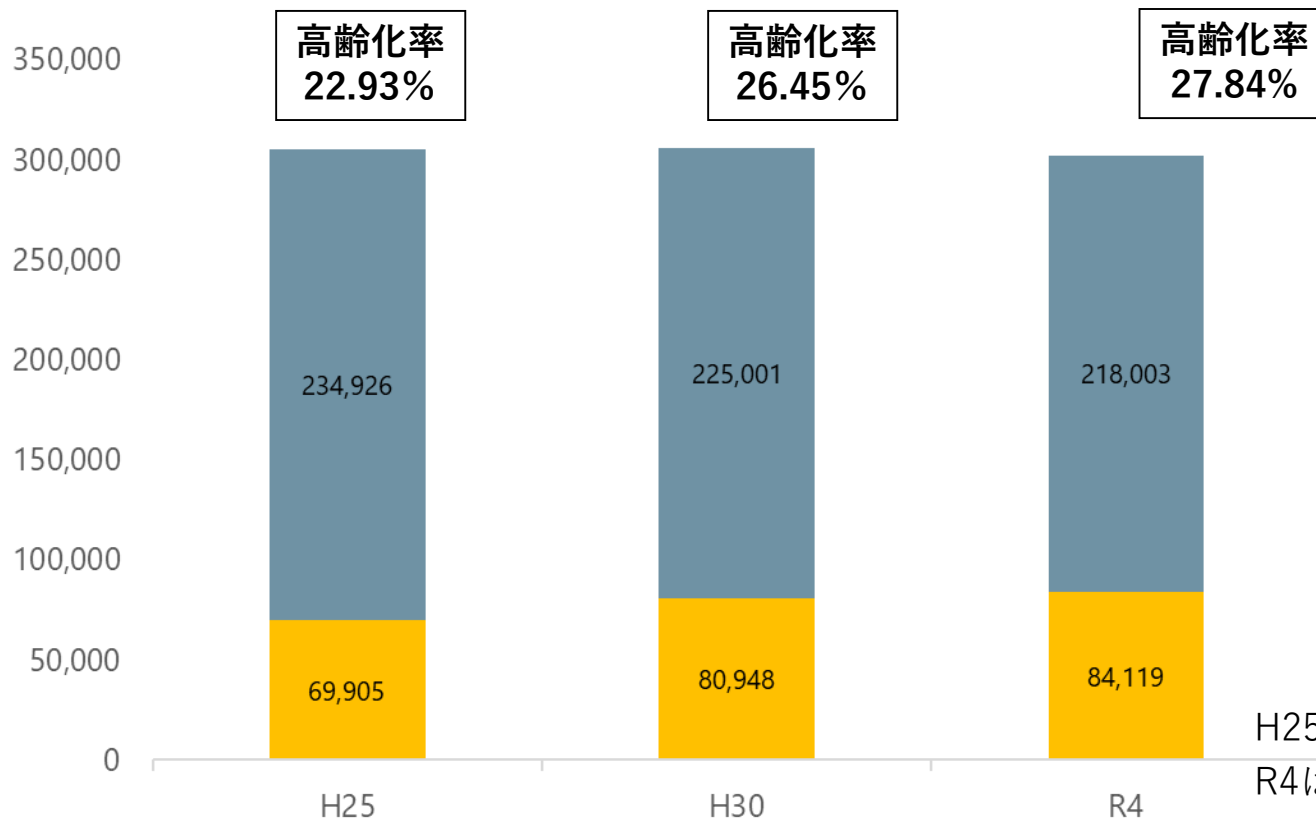
# 久留米市の高齢化の現状

総人口 **302,122**人  
 高齢者人口 **84,119**人



高齢化率は**27.84%**。

(令和4年4月1日現在)



H25,H30は各10月1日時点  
 R4は4月1日時点

# 要介護認定者数の推移

15,249人

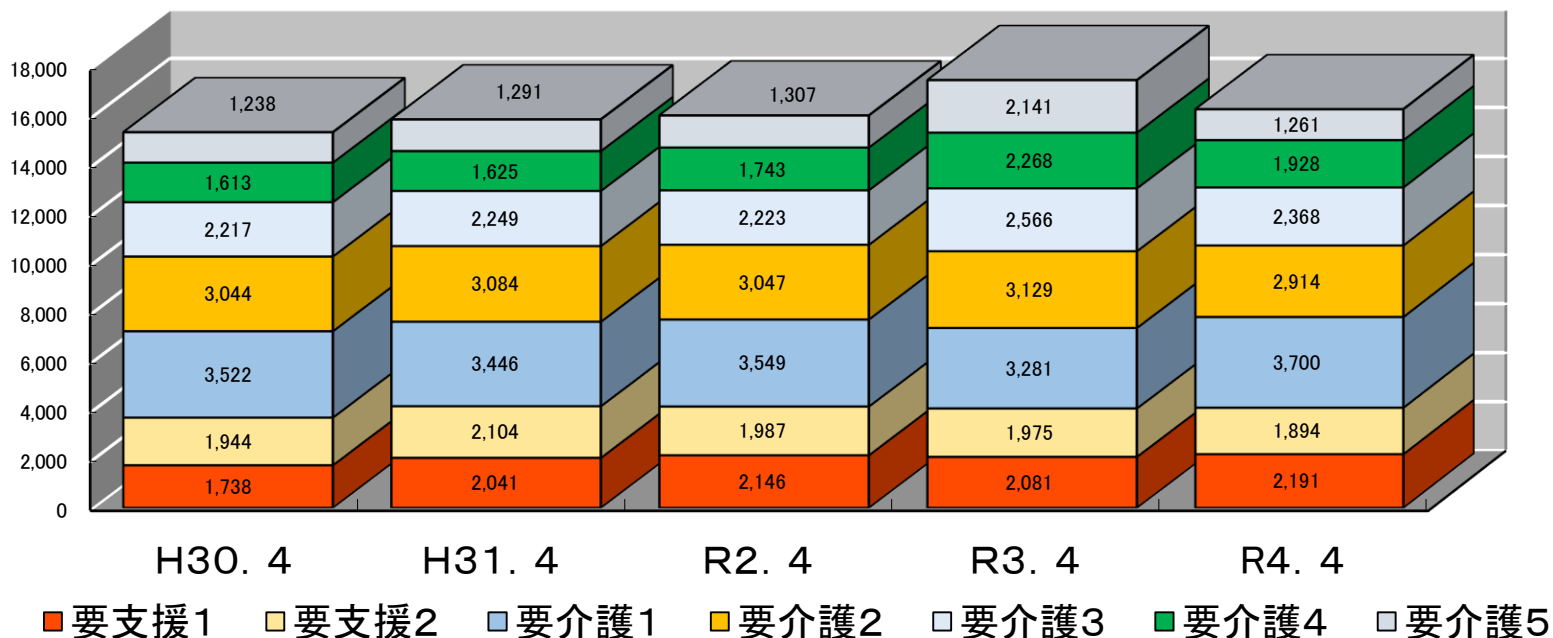
15,316人

15,840人

17,441人

16,256人

## 要介護認定者数



認定審査した被保険者が要介護状態に該当するか否かを認定審査会で審査・判定する。認定は、状態に応じて「非該当」「要支援1」「要支援2」「要介護1」「要介護2」「要介護3」「要介護4」「要介護5」に分かれる。

# 認知症高齢者の推計値

	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)
国	525万人 (16.0%)	631万人 (18.0%)	730万人 (20.6%)	953万人 (25.4%)
久留米市	12,200人	15,000人	18,000人	24,700人
高齢者人口	76,066人	83,088人	87,323人	97,433人

※各年齢層の認知症有病率が、2012年以降も糖尿病有病率の増加により上昇すると仮定した場合

※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)より全国の認知症有病率を基に久留米市を推計。国の数値は、同研究に基づく「平成29年版高齢社会白書」に掲載されている推計値。

※住民基本台帳(各年10月現在)、推計値はコホート要因法による。

## 久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）設置要綱

**（趣旨及び設置）**

第1条 認知症の人やその家族が、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、関係する団体から広く意見を聴くことを目的として「久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）」（以下「会議」という。）を設置する。

**（検討事項）**

第2条 会議は、次の各号に掲げる事項について検討し、市に意見を述べる。

- （1）認知症の人やその家族を地域で支援していくための仕組みづくりに関する事項
- （2）「久留米市認知症支援ガイドブック」に記載する内容に関する事項
- （3）その他認知症施策に関する事項

**（組織）**

第3条 会議は、別表に掲げる団体（以下「構成団体」という。）をもって組織する。

**（委員長及び副委員長）**

第4条 会議に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

**（会議の開催）**

第5条 会議は、必要に応じて委員長が招集する。

**（認知症医療連携会議）**

第6条 会議に、地域支援事業実施要綱に基づき設置された認知症初期集中支援チーム（以下「チーム」という。）の活動状況及びチームの活動における関係機関との具体的な連携方法に関すること並びに認知症の早期の発見及び治療につなげるシステムの構築等についての協議を行う「認知症医療連携会議（以下「連携会議」という。）」を置く。

- 2 連携会議の委員は、委員長が会議に諮って指名する。

**（事務局）**

第7条 会議の事務は、健康福祉部長寿支援課において処理する。

**（委任）**

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、市が別に定める。

**附 則****（施行期日）**

- 1 この要綱は、平成30年5月11日から施行する。

## 別表

## 久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議） 構成団体

区分	団体
医療・保健・福祉関係	一般社団法人 久留米医師会
	一般社団法人 浮羽医師会
	一般社団法人 小郡三井医師会
	一般社団法人 大川三潞医師会
	一般社団法人 久留米三井薬剤師会
	一般社団法人 久留米歯科医師会
	公益社団法人 福岡県栄養士会
	一般社団法人 福岡県歯科衛生士会
	福岡県認知症医療センター 久留米大学病院
	社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会
	一般社団法人 くるめ地域支援センター
	福岡県若年性認知症サポートセンター（若年性認知症支援コーディネーター）
介護関係者	特定非営利活動法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会
認知症の人と 家族の会関係者	特定非営利活動法人 にこにこ会（久留米地区認知症の人と家族の会）
民生委員・児童委員	久留米市民生委員・児童委員協議会
校区まちづくり関係	久留米市校区まちづくり連絡協議会
商工関係	久留米商工会議所

久留米市認知症支援ネットワーク会議(久留米市オレンジ会議)委員【作成中】

参考資料3

区分	構成団体	委員	認知症医療連携会議
医療・保健・福祉関係	一般社団法人 久留米医師会	山崎 剛	○
	一般社団法人 浮羽医師会	古賀 寛	○
	一般社団法人 小郡三井医師会	古川 哲也	○
	一般社団法人 大川三瀬医師会	北原 清恵	○
	一般社団法人 久留米三井薬剤師会	吉永 美恵	
	一般社団法人 久留米歯科医師会	長澤 一利	
	公益社団法人 福岡県栄養士会	関 美穂	
	一般社団法人 福岡県歯科衛生士会	天本 和子	
	福岡県認知症医療センター 久留米大学病院	小路 純央	○
	社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会	大内田 千代	
	特定非営利活動法人 くるめ地域支援センター	稲田 臣治	○
福岡県若年性認知症サポートセンター(若年性認知症支援コーディネーター)	阿部 かおり		
介護関係者	特定非営利活動法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会	中村 祐子	○
	特定非営利活動法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会	堀江 桃子	○
認知症の人と家族の会関係者	特定非営利活動法人 にこにこ会(久留米地区認知症の人と家族の会)	藤井 哲郎	
民生委員・児童委員	久留米市民生委員・児童委員協議会	綾部 章子	
校区まちづくり関係	久留米市校区まちづくり連絡協議会	角 栄子	
商工関係	久留米商工会議所	笠 智宣	

18名

8名